

みまた



美又まちづくりセンター付近より堂床山と噺山を望む

謹賀新年

本年もどうぞ

よろしくお願ひいたします



美又湯気の里づくり委員会
会長 横田 雪生
美又自治振興会
会長 岡本 健治
美又まちづくりセンター
職員一同

賀正

新年あけましておめでとうございます。

コロナに振り回されたここ数年でしたが、困ったもので、緩めれば弛むという人間の性を背負ったまま、コロナ感染拡大は六波に突入いたしました。とりわけ隣接する都市での拡大は石見地方にとって脅威となります。

さて、人口減少と高齢化によって地域の担い手が不足する中、美又地区に活力を取り戻すために、地区民の親睦と協調、さらに住んでよかったと思えるまちづくりを基調とする『美又湯気の里協議会』が、自治会、まちづくり委員会の融合によって発足することとなりました。旧美又農協に掲げられている「共存共栄」のシンボルマークは美又地区のかけがえのない財産です。コロナに関係なく、とかく巣ごもりになりがちな社会情勢ですが、あらゆることに関心をもって、積極的に支え合う美又のまちにしようではありませんか。本年もよろしくお願ひいたします。

美又湯気の里づくり委員会 会長 横田 雪生



迎春

新しい年が明けました。

皆様には、平素より自治会の活動に対しご理解とご協力を賜り厚く御礼申しあげます。

昨年も、コロナの影響で活動という活動はほとんど行えず、それでも一時期は収束を迎えられているような静けさがありましたが、島根県でも年末から再び猛威を振るいはじめいろんな活動をするにあたりさらに厳しい状況の様に感じています。

また、ほとんどの地区でもそうですが、人口の減少・高齢化は避けられない現状にあります。その中で皆様にとって、いかに工夫し負担を減らしつつ活動を行っていくかが問われています。

そこで、今年度は“自治会”と“まちづくり”を統合し、新しく“まちづくり”として存続していく考えであります。そして組織改革と合わせ、コロナ禍ではありますが、活気あるまちづくりを可能な限りしっかりと対策を取りつつ行えればと考えております。そのために、皆さまのご協力を頂けましたら幸いです。

最後になりましたが、本年が皆様にとって幸多い年でありますように心よりお祈り申し上げます。

美又自治振興会 会長 岡本 健治



あけまして
おめでとう
ございます

あけましておめでとうございます。

令和3年4月よりまちづくりセンターとしてスタートしました。

コロナ禍でありながら安全安心対策をとりながら、皆さまのご支援
ご協力により多くの方にセンターをご利用いただきありがとうございます
ございました。

今年も安全安心対策をしながら美又まちづくりセンターが人と人とのつながりの場、地域の
生きがいつくりの場、地域活性化の拠点として、皆さまと共に歩んでいきたいと思っておりますので
引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

美又まちづくりセンター センター長 石田 禮子



お茶べり会

1月11日(火) 今年初めてのお茶べり会を開催しました。初めに軽く運動した後、迷路と間違い探しに挑戦。脳トレで正月休みを挽回したいところですが、違うところがなかなか発見できず頭を抱え込み、発見したら「アーここが違うのね」と苦笑い。続いて輪投げゲームに挑戦。足と腕をバランス良く使って支柱目掛けて投げ込み、上手く入ると大きな拍手が起こりました。最後は、柔らかな白玉ぜんざいを食べながら昔のお正月の様子をお茶べりしました。



「卓球」「ボッチャ」の練習開始

今年も卓球愛好者の皆さんが練習を開始されました。都合のつく方が集まって和気あいあいと楽しそうに練習をしておられます。卓球は気軽にできるスポーツで見た目より運動量があるそうです。来られる方は、運動靴を持参してお越してください。



1月11日(火)
ボッチャ同好会の皆さんが初投げを楽しめました。冬の間グラウンドが使えないため運動不足の解消と親睦交流のため火曜日と金曜日の午後練習しておられます。この競技は、昨年行われた東京パラリンピックでも注目された競技で、目標の白い球を目指し赤青に分かれてより近いところに玉を投球するスポーツです。脳トレにもなり楽しいスポーツですので声を掛け合ってください。



男と女のお魚料理教室開催

1月15日(土)浜田市魚食普及推進事業の助成で「穴子」と「ぶり」の提供を受け、長野操子管理栄養士を講師に男と女の料理教室を開催しました。

参加者11名で「アナゴ丼」「ぶりの照り焼き」「ぶり大根」「ぶりのトマト煮」「ぶりのフライ」「さつま芋餅」を作りました。

当日は「ぶり」の予定が「ハマチ」に変更となりましたが、大きな魚を捌く作業に一苦勞。男性の力が大活躍しました。コロナの影響でテイクアウト(持ち帰り)としたため、味は帰ってからの楽しみとなりました。

参加者の方からは、「短時間の間に一尾の魚を捨てる事無く料理できた。」「穴子を扱ったことが無かったが、今後は自分で料理してみたい。」などの声がきかれました。

また、最近では男性の料理をする方も増え「年を重ねてきたので肉料理より魚料理がよくなってきた。レシピを見てもう一度作りたい。」とか「全く料理をしなかったが、最近少しずつやるようになった。この経験を大切に今後作ってみたい。」と嬉しい声もありました。

長野先生からは、血糖値が高い方は砂糖を減らす工夫をしたり、悪玉コレステロールが高い方は肉料理を減らして魚料理を増やしていった方がいいですよとアドバイスをいただきました。



新型コロナウイルス感染防止対策にかかる休館について

美又まちづくりセンターの休館 1月22日(土)~1月31日(月)

この間、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、まちづくりセンターを休館といたします。今後の状況によっては、期間が変更になる場合があります。ご迷惑をお掛けしますがご理解とご協力をお願いいたします。

参加者募集のお知らせ

① みそづくり

日時：2月18日（金）
午前9:00～午後1:00～
午前と午後の2班に分けて実施します。

参加費：2,700円

持参品：エプロン、三角巾、マスク

みそ入れ容器

（丸型、4kg以上入るもの）

申込：募集定員12名（先着順）

2月8日（火）までに

美又まちづくりセンターへ

（☎42-1704）連絡ください。



② とうふづくり & 中華料理入門

日時：2月21日（月） 午前9:00～12:00

参加費：500円

持参品：エプロン、三角巾、マスク

ざる付き容器

（無い方はご相談ください。）

申込：募集定員9名（先着順）

2月12日（金）までに

美又まちづくりセンターへ

（☎42-1704）連絡ください。



③ 「人権学習会」

& 「消費者問題・交通安全学習会」

日時：2月22日（火） 午前9:30～11:45

場所：美又まちづくりセンター

共催：美又寿会



詳しくは、別紙チラシをご覧ください。

※ コロナの状況で延期する場合があります。

ミニミニ文化祭のお知らせ

◎ 展示期間：2月17日（木）～3月11日（金）
地域の方から寄贈を受けたおひな様と地域の方の作品を展示します。

◎ 展示作品の受付：2月上旬より受付しますので多数の作品提供にご協力ください。

先月のチラシで作品募集をお願いしておりますが、まだまだ作品が少ない状況ですので、皆さまのご支援をよろしく願いいたします。

ミニミニ文化祭には皆さまお誘い合わせてお越しください。（土・日・祝日は除きます）

今月の俳句

不動寺に僧一人座し初不動
鳥屋奥にほんのり白し寒卯

越田 武雄

酔ごぼうにいにしえたぐる明の年
書初めや筆のはこびも令和かな

横田 雪生

ふるさと学習会のご案内

テーマ：農地からの挑戦状！

～わたらの田んぼはわたらが守る～

日時：2月16日（水） 午前9:30～11:00

場所：久佐まちづくりセンター ☎42-2666

講師：県西部農林水産振興センター職員 他

近年、野生鳥獣による農作物の被害は増加の一途をたどり、家庭菜園にまで及んでいます。

サギ、ヌートリア、アライグマ、イノシシ、クマ、シカ、スズメ…etc

米価の下落などと相まって農業を続ける意欲を奪う大きな要因となっています。野生鳥獣による被害の実態と鳥獣の生態を学び、あきらめることなく一緒に戦いましょう！そして勝利しましょう！

皆さまのご参加をお待ちしています。



三隅町のお客様からいただきました。

大きくてビックリ！
ばんべいゆ
「晩白柚」というザボンの一種だそうです。